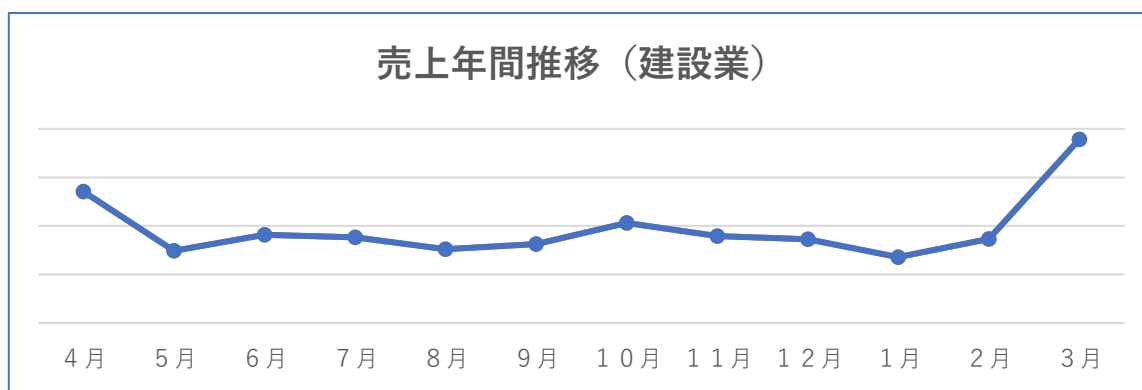


令和5年度 商工会管轄内の企業における景気動向分析（経営経営発達支援計画）

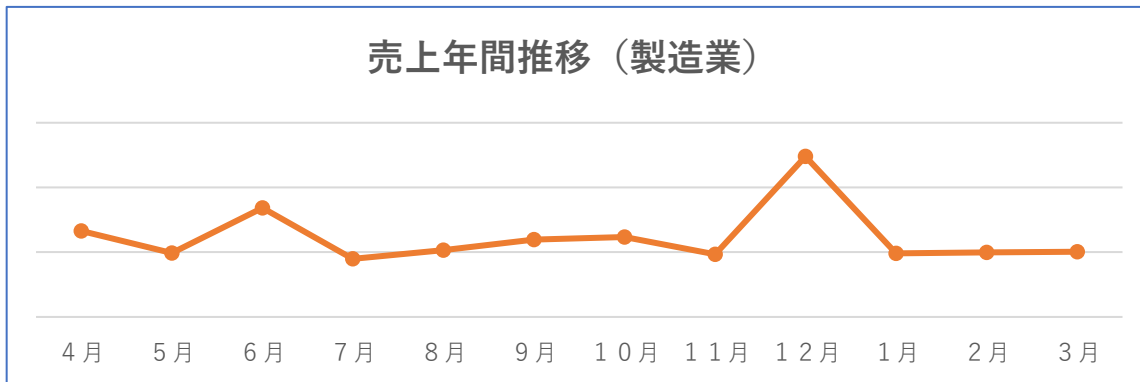
本調査は、経営発達支援計画の一環で地域の景気動向を調査するものです。サンプル企業として建設業、製造業、小売業、卸売業、飲食業、サービス業から合計23社を抽出し、売上や景況感等についてアンケートし、調査結果を以下のとおり簡単にまとめましたので、必要に応じ御社の経営のご参考として確認いただけましたら幸いです。

1. 業種別売上推移

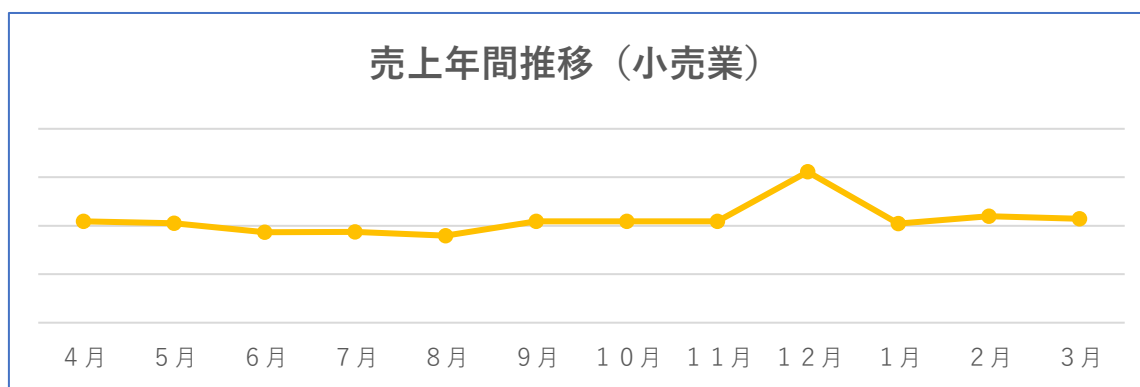
①建設業（7社）



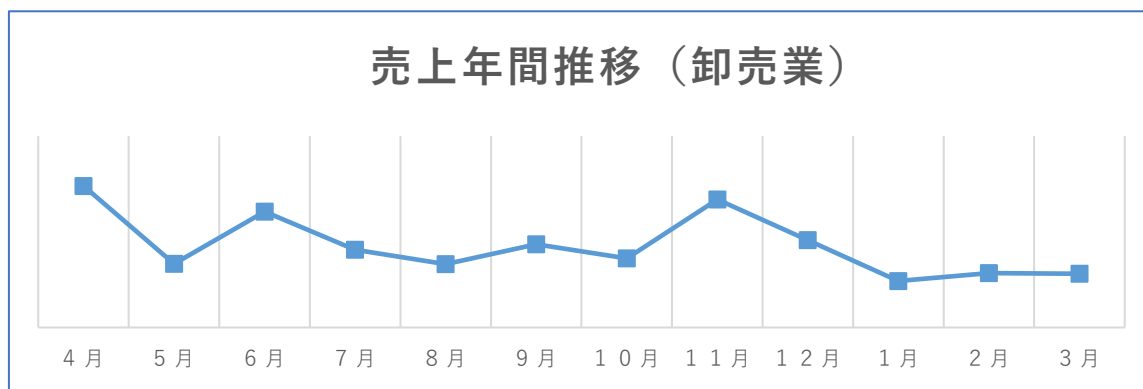
②製造業（3社）



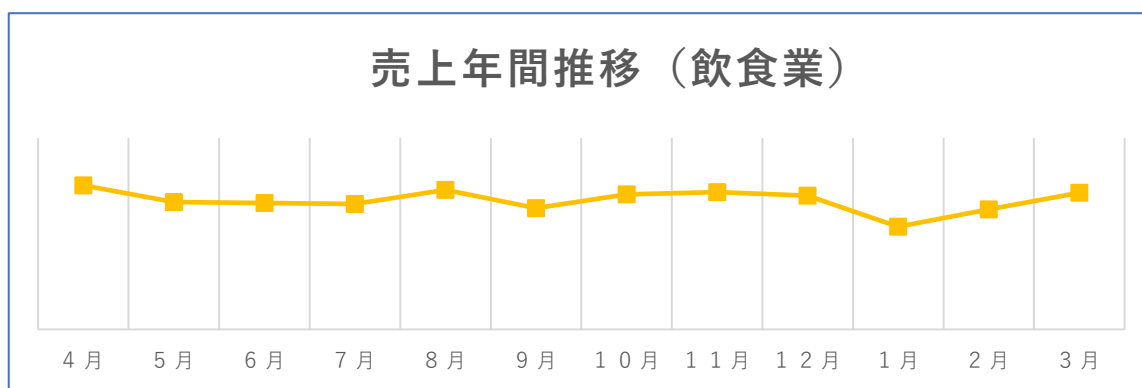
③小売業（4社）



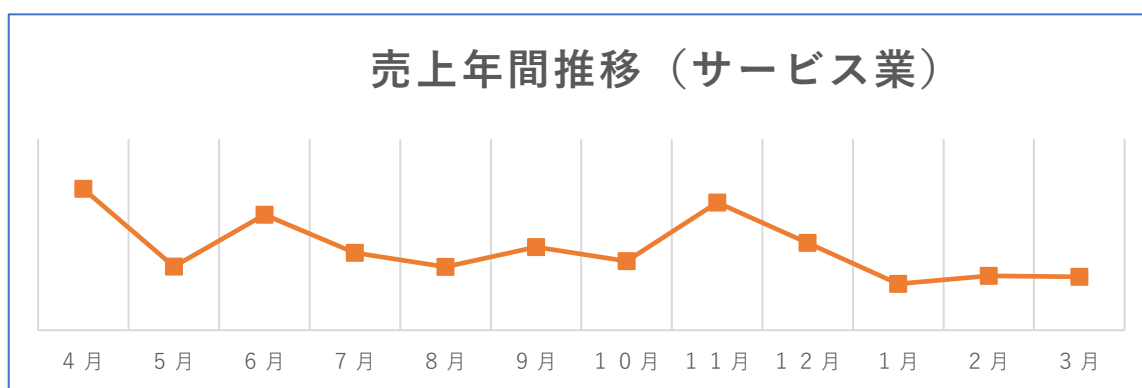
④卸売業（3社）



⑤飲食業（3社）



⑥サービス業（3社）



1. 業種別売上（前年同期比較）

	第1四半期(R05.4月～6月)	第2四半期(R05.7月～9月)	第3四半期(R05.10月～12月)	第4四半期(R06.1月～3月)
建設業	↗	⇒	⇒	⇒
製造業	↗	↗	↗	⇒
小売業	⇒	↘	↘	↗
卸売業	↗	↘	↘	↘
飲食業	↗	↗	↗	⇒
サービス業	↗	↗	↗	↗

※ ↗（増加） ⇒（不変） ↘（減少）を表します。

2. 業種別資金繰り（前年同期比較）

	第1四半期(R05.4月～6月)	第2四半期(R05.7月～9月)	第3四半期(R05.10月～12月)	第4四半期(R06.1月～3月)
建設業	⇒	⇒	⇒	⇒
製造業	⇒	↘	↘	⇒
小売業	↘	↘	↘	↘
卸売業	↘	↘	↘	↘
飲食業	↘	↘	↘	↘
サービス業	↗	↘	↘	⇒

※ ↗（好転） ⇒（不変） ↘（悪化）を表します。

3. 業種別材料等仕入単価（直前期3ヶ月比較）

	第1四半期(R05.4月～6月)	第2四半期(R05.7月～9月)	第3四半期(R05.10月～12月)	第4四半期(R06.1月～3月)
建設業	↗	↗	↗	↗
製造業	↗	↗	↗	↗
小売業	↗	↗	↗	↗
卸売業	↗	↗	↗	↗
飲食業	↗	↗	↗	↗
サービス業	↗	↗	↗	↗

※ ↗（上昇） ⇒（不変） ↘（低下）を表します。

4. 最近の業況（景気感）

	第1四半期(R05.4月～6月)	第2四半期(R05.7月～9月)	第3四半期(R05.10月～12月)	第4四半期(R06.1月～3月)
建設業	⇒	⇒	⇒	⇒
製造業	↗	↘	⇒	⇒
小売業	↘	↘	↘	↘
卸売業	↗	⇒	↘	↘
飲食業	↗	↗	↘	↘
サービス業	↗	⇒	⇒	⇒

※ ↗（良い） ⇒（ふつう） ↘（悪い）を表します。

5. 最近の採算（利益）

	第1四半期(R05.4月～6月)	第2四半期(R05.7月～9月)	第3四半期(R05.10月～12月)	第4四半期(R06.1月～3月)
建設業	⇒	⇒	⇒	⇒
製造業	⇒	↓	↗	⇒
小売業	↓	⇒	⇒	↓
卸売業	↗	↓	↓	↓
飲食業	↓	⇒	↓	↗
サービス業	↗	⇒	⇒	⇒

※ ↗（黒字） ⇒（収支トントン） ↓（赤字）を表します。

6. 現在の従業員数

	第1四半期(R05.4月～6月)	第2四半期(R05.7月～9月)	第3四半期(R05.10月～12月)	第4四半期(R06.1月～3月)
建設業	↓	↓	↓	↓
製造業	⇒	⇒	⇒	⇒
小売業	↓	↓	↓	⇒
卸売業	⇒	⇒	⇒	⇒
飲食業	⇒	⇒	↓	⇒
サービス業	↓	↓	↓	↓

※ ↗（過剰） ⇒（適正） ↓（不足）を表します。

7. 対象事業所様からこの1年間にいただいたコメント【AI要約】

①建設業

仕入価格による適正価格での取引を実現し、受注数が増加しているが、若手人材不足により作業の進捗に影響が出ており、売上にも影響が出ている。また、材料の仕入れ価格の上昇により、客質と単価が低下している。

②製造業

原料価格上昇や人件費増加に加え、コロナ借入の返済が始まったため、企業の業況は良くない。一方で、株価の上昇など明るい話題もあるが、企業には恩恵がない。

③小売業

客層の変化に対応するためSNSを活用し、接客の質向上やサンプル配布などの来店メリットを提供するなど努力を継続している。石川県の地震の影響で売上が一時的に低下したが、最近は回復傾向にある。

④卸売業

現在は利益率の高い大規模工事物件の受注により、業況はあまり変化していない。今後、売上と受注数の減少に対応するため、営業活動の内容の見直しや対策の検討が必要である。

④飲食業

物価高やコロナ禍により夜の客が減少している中で、仕入単価の上昇により利益が減少している状況が続いている。夏休みなどの長期休暇で来店客が一時的に増えたが、恒常的な客数の増加が見込めない上に材料代の上昇が収まらないことから将来の見通しは非常に不安である。

⑤サービス業

コロナ融資の返済が圧迫し資金が不足しているため、設備の老朽化に伴う設備投資を行うことが困難である。さらに、人材確保も人手不足により難しい状況である。

7. 業種別に見た経営上の課題（上位1位）

①建設業

材料価格の上昇

②製造業

原材料価格の上昇

③小売業

消費者ニーズの変化への対応

④卸売業

仕入単価の上昇

⑤飲食業

材料等仕入単価の上昇

⑥サービス業

材料等仕入単価の上昇